



公益社団法人 いわて被害者支援センター

# 支援センターだより

令和3年2月10日発行

No.22

## 令和2年度定時総会・理事会の開催

### 1 令和2年度定時総会の開催

本年度の総会は、新型コロナウイルス感染防止のため、議決権の代理行使及び書面による議決権の行使により、正会員の皆様には、総会に出席することなく、議決権を行使できる方法としました。

- [議案]**
- 令和元年度事業報告及び収支決算書並びに令和2年度の事業計画及び収支予算書
  - 役員選任候補者八重樫卓也氏の決議について
  - 以上の提案を可決する旨の決議があったとみなされる日を6月10日とする

いずれも原案どおり、ご承認をいただきました。

### 2 令和2年度理事会の開催

#### ● 第1回理事会（5月21日(木)）

- ・ 令和元年度事業報告及び収支決算書の承認について
  - ・ 役員候補者の決議について
  - ・ 正会員・賛助会員入会の決定について
- いずれも原案どおり、ご承認をいただきました。

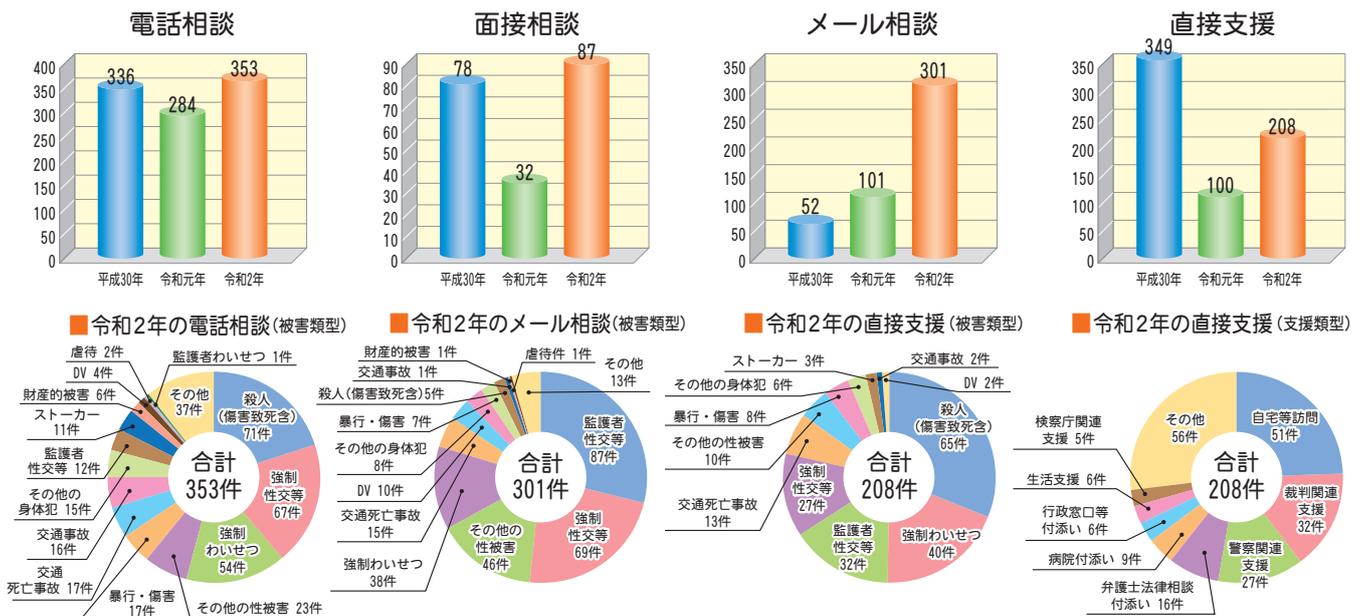
#### ● 第2回理事会（12月3日(木)）

- ・ 正会員・賛助会員入会の決定について
- 原案どおり、ご承認をいただきました。

## 令和2年中の相談・支援活動状況（1月～12月）

令和2年中の電話相談・面接相談・メール相談・直接支援の状況は下記のとおりです。

(件数は、全国ネットワークの統計基準に基づき計上しており、対応した事件の数ではなく、警察署や病院などへの付添い、裁判支援、自宅訪問などの支援活動の件数です。)



発行：公益社団法人 いわて被害者支援センター  
〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3-10-2 (岩手県立県民生活センター2F)

TEL: 019-621-3750 FAX: 019-613-3754  
E-mail: info.niji.50@iwate-vsc.jp URL: http://www.iwate-vsc.jp

● 事件・事故の相談電話 019-621-3751 ● 性犯罪等相談電話 (はまなすサポート) 019-601-3026

10:00～17:00まで(土日、祝日を除く) 相談や支援活動は無料です。相談内容が他に漏れることはありません。安心してご相談ください。

# 広 報 啓 発 ・ 研 修 ・ 会 議 等

## ● 広報啓発

### ●「犯罪被害者支援キャンペーン」広報の実施

犯罪被害者支援活動の広報イベントとして、10月10日（土）イオンモール盛岡1階「イーハトーヴ広場」において、これまで、県警音楽隊による「犯罪被害者支援ふれあいコンサート」を行っておりましたが、今回は、新型コロナウイルス感染防止のため、同コンサートに代わり、県の広報キャラクター着ぐるみ「わんこきょうだい（2体）」によるパフォーマンスとともに、買物客に対し、パネルの展示やポケットティッシュの配布等、被害者支援活動の理解と協力を呼びかけました。

また、同会場に設置された大画面（オーロラビジョン）には、被害者遺族である大崎佑輝さんが、交通事故で亡くなられた妹さんに思いを込め、自身が作詞・作曲された曲「白鳥」を映像とともに流しました。

会場を歩き交う買物客の多くの方が、足を止め、聞き入っていました。



ほくろよう  
「白鳥」  
作詞・作曲 大崎 佑輝

平凡な幸せが 僕らをやさしく 包んでいたのどうしてなんだろう  
君はいなくなった 白鳥になり  
それから幾年過ぎたんだろう  
君がいたら なんてことをまた考えてる  
戻りたい 戻れない その葛藤の中で思ったことは  
君に逢いたい 今も君に逢いたい  
あの日の君が愛しい 僕の妹なんだ  
夢でもいいから たまに会いに来て

眠ろうとするとときに 心と浮かんで 考えていたら もう朝になったり  
すべて変わったよ 何もかも  
それも受け止めた 受け止めたから  
君に僕の声が届くなら  
伝えたい ひとつだけ この現実の中で思ったことは  
僕は幸せなんだよ 今も幸せなんだよ  
強がりなんかじゃないんだ そう心配しないで  
君のためなんだ 僕は死なないよ

声が届くようにと 君に宛てた手紙書きます  
あの日とおなじ白鳥が 飛んでいます 翼に手紙をしたためて

今 君に逢えたら 僕は泣いてしまうだろう  
全ての事さえ忘れて 君を抱きしめてしまうだろう  
でも 幸せなんだよ 今も幸せなんだよ  
君がくれた全ての事がほら こんなにも大きくて  
そうだ 僕たちは 絶対死ねないよ 君に逢えるまで  
君のために生きよう 君のために生きよう

### ●「第55回岩手県警察音楽隊定期演奏会」における広報の実施

11月14日（土）、盛岡市民文化ホール（マリオス大ホール）において「第55回岩手県警察音楽隊定期演奏会」が開催されました。

今回は、新型コロナウイルス感染防止対策として、会場収容人員の制限等（50%）があったものの約420人の来場者を迎えました。

入場受付時、当センターが準備したチラシ・パンフレット等の配布や当ホールのホワイエにおいて、被害者支援広報ブースを設置し、被害者支援についての理解と協力を呼びかけました。



## ● 研 修

### ●「全国犯罪被害者支援フォーラム2020」((公社)全国被害者支援ネットワーク・日本被害者学会・(公財)犯罪被害者救援基金・警察庁主催)

「全国犯罪被害者支援フォーラム2020」は10月16日、東京都千代田区内「イイノホール」にて開催されました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大により開催が危ぶまれましたが、会場ホールの定員（500名）の30%とし、さらに会場に赴くことができない方々に対し、初めてYouTubeによる限定配信をしております。

同フォーラムは25回目となり、「被害少年に対する支援」をテーマに会場席135、配信案内198など約330人の参加者を得て開催されました。

第1部の表彰式では、支援功労者、支援功労職員及び功労団体が称揚されました。また、被害者支援活動を支えた個人、団体に感謝状が贈呈されました。

続いて、「きょうだいが犯罪被害に遭うということ」と題して、平成16年に長崎県佐世保の小学校で妹が同級生の女兒にカッターナイフで切り付けられて死亡するという殺人事件の被害者のきょうだい（次兄）である御手洗氏から、妹を亡くした兄の心情、親を気遣う子供心、学校に復帰して普通に生活することの苦悩や支えてくれた友人の事、学校と警察の連携など、その思いを話していただきました。

第2部では、パネルディスカッション「民間団体と関係機関の連携した支援の在り方」をテーマに、コーディネーターを上智大学客員研究員・元教授伊藤富士江氏が務め、パネリストは日本大学危機管理学部准教授鈴木秀洋氏、埼玉県警察本部生活安全部少年課課長補佐芹田卓身氏、「栞の会」代表（犯罪被害者ご遺族）赤田ちづる氏、広島被害

者支援センター支援総括責任者の柳原ひとみ氏が務め、発表と意見交換が行われました。

同フォーラムには、当センターから支援活動員3名が参加しております。

### 【被害者支援ボランティアとして】

現在、私は被害者支援ボランティアとして活動し、今年で4年目となります。

今から20年前、支援センター設立当時、一度応募しましたが、私自身も犯罪被害者の一人であり、様々な葛藤が生じ、そのような状態でお手伝いしても良い支援はできないものと思い、断念してしまいました。

しかし、その後もその思いは私の中で、くすぶり続け、3年前、偶然にもボランティアを募集していること知り、あらためて応募し、現在に至っております。

私自身が犯罪被害者という立場にあり、それを知っている方からは、「被害に遭われた方の気持ちを理解してあげられるのではないか」と言われますが、たとえば私と同じような被害に遭ったとしても、それぞれ被害者の考え方、生活環境等、受ける苦しみや衝撃は、千差万別であり、そう簡単には、理解してあげられるものではないと思っております。

支援を受けたある被害者の方の手記に「被害直後の状況として、被害者は本当に多くの問題に忙殺され、心の支援は緊急な問題から遠く、“ありがた迷惑”で、ほとんど時宜を得た助言はなかった」ということが綴られておりました。これはまさに核心をついた感想だと思いました。

私自身の経験から言えることは、支援において必要なことは被害者の直面する数々の苦境に具体的で有効な支援をすること、まずは被害者の方と信頼関係を築き、心のケアとともに、最初に何の支援をすべきか、優

先順位を決めて、それを提示し、内容によっては、適切な関係機関へ繋ぐことが重要ではないかと考えます。

いわゆる「関係機関との連携」については、これまでボランティア研修において、何度も強調されているところでありますが、それぞれの関係機関には、組織としての守備範囲や法的な問題もあり、なかなか関係機関同士の横の連携はスムーズではないと感じております。

願わくば、被害に遭われた方がどこかに相談した場合、他の関係機関へも情報が伝わり、連携した対応が可能となるワンストップ的な窓口が設置されれば被害者の負担も軽減されるのではないのでしょうか。

私事ではありますが、母が家庭内の事故で亡くなって、今年で20年になりますが、私にとって事件の衝撃は、その後の生活に大きく影響を及ぼしました。それでも周りの沢山の方々に助けていただき、今日の自分があると思っています。当時、叔父から「人は苦しい時、自分がしてあげたことは覚えているが、受けた恩は忘れてしまいがちである」と言われた記憶があります。

母を失って20年という節目に、あらためて、自分にできるボランティア活動をセンターの職員とともに、精一杯務めたいと思っています。

最後に、母が亡くなった際、母の友人から献花に添えられたメッセージに「悲しみ、苦しみを癒やせるものは時間だけであり、それを時薬（ときぐすり）といいます。」と書いてありました。

今も私の心に深く沁み入る言葉となっています。

支援活動員 H・K

### ●「令和2年度秋期全国研修会」((公社)全国被害者支援ネットワーク主催)

「令和2年度秋期全国研修会」は、10月17日、18日の両日、東京都港区内「機械振興会館」で開催されました。同研修会に、当センターから支援活動員3名が参加し、それぞれ分科会と全体会に参加しております。

### ●「令和2年度全国被害者支援ネットワーク(北海道・東北ブロック)質の向上研修下半期研修会」((公社)全国被害者支援ネットワーク主催)

同研修は、当センターが事務局を担当し、11月19日、20日の両日、盛岡市内「アートホテル盛岡」において開催しました。

今回は、コロナ禍の影響もあり、参加予定者の中に辞退する方もあり、開催そのものが危ぶまれたところでしたが、最終的にブロック内から11名の参加者(当センターから3名)があり、NNVS認定コーディネーター2名のほか、当センターから中谷理事長、須山副理事長及び当センターの犯罪被害相談員柴内・田中の両名が講師として登壇しました。なお、カリキュラム及び講師については、次のとおりです。

#### ●「相談技術 面接相談」

NNVS認定コーディネーター  
いばらき被害者支援センター  
犯罪被害相談員 森田ひろみ氏

#### ●「関係機関とのあり方(2)」

重度の傷害事例に基づき連携のあり方を考える。  
NNVS認定コーディネーター  
あおもり被害者支援センター  
犯罪被害相談員 工藤美貴子氏

#### ●「直接支援の展開」(刑事手続支援)事例②性被害

いわて被害者支援センター  
犯罪被害相談員 柴内綾氏  
同上 田中愛梨子氏

#### ●「事例検討会の進め方 助言・指導」

NNVS認定コーディネーター  
いばらき被害者支援センター  
犯罪被害相談員 森田ひろみ氏

NNVS認定コーディネーター  
あおもり被害者支援センター  
犯罪被害相談員 工藤美貴子氏

- 「人材育成(2)」育成される側から育成する側へ  
いわて被害者支援センター理事長  
岩手県立大学教授 中谷敬明氏
- 「支援に関する法律、制度(3)」民事手続  
いわて被害者支援センター副理事長  
岩手弁護士会被害者救済センター委員長  
弁護士 須山通治氏



### ●令和2年度養成講座等の実施（当センター主催）

- |   |   |
|---|---|
| <p>① 5月26日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理、二次被害（中谷理事長）</li> <li>・センターの活動、刑事事件に関する関係機関（専務理事）</li> </ul> <p>② 6月23日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故相談への対応、主な刑罰法令、刑事手続きの流れ（専務理事）</li> </ul> <p>③ 7月31日（継続講座対象者含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弁護士と被害者支援（須山副理事長）</li> <li>・警察と被害者支援（警察本部県民課）</li> </ul> <p>④ 8月27日（継続講座対象者含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイバー犯罪被害の対応（警察本部サイバー犯罪対策室）</li> <li>・被害少年の対応（警察本部少年サポートセンター）</li> </ul> | <p>⑤ 9月14日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話相談の傾聴要領（田中相談員）</li> <li>・電話相談ロールプレイ（八木相談員）</li> </ul> <p>⑥ 10月6日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接支援（田中相談員）</li> <li>・裁判所見学（柴内相談員）</li> </ul> <p>⑦ 12月8日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性暴力被害者への対応（柴内相談員）</li> <li>・事例検討（柴内相談員）</li> </ul> |
|---|---|

### ● 会 議

#### ●「令和2年度北海道・東北ブロック事務局長等会議」の開催

本年度のブロック事務局長等会議は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、初めてのリモート会議となりました。

同会議では、冒頭に、（公社）全国被害者支援ネットワークの奥山専務理事の挨拶に続き、同ネットワーク西田事務局長から次の説明がありました。

- ・第4次犯罪被害者等基本計画の策定に関する取組みについて
- ・犯罪被害者支援に特化した条例の制定について
- ・2020年度の広報活動

また、日本財団公益事業部国内事業審査チームから、「令和3年度預保納付金事業」の概要についての説明がありました。

#### ●三者会議

県警県民課の発案により、県・県警・支援センター三者の情報共有と支援活動における連携・協力体制の推進を図ることを目的に、月1回の頻度による「三者会議」を開催しています。

### 自助グループ の活動

自助グループは、「同じつらさを抱えた者同士が、お互いを支え合い、励まし合う中から、問題の解決や克服を図ることを目的に集う活動」ですが、当センターでは、平成17年12月、3家族4名による「交通事故被害者遺族」の自助グループ活動がスタートしております（令和2年3月末現在、5家族6名の会員）。

当センター中谷理事長は、発足当時からファシリテーターを務め、偶数月の第4日曜日を開催日として、本年度は、4月以降3回開催しております。



## 岩手県警察本部長からの「感謝状」の贈呈

7月1日、当センターのこれまでの支援活動に対し、岩手県警察本部長から感謝状が贈呈されました。

(贈呈式では警察本部大越県民課長から中谷理事長に感謝状が贈呈)



## 警察庁主催「令和2年度『大切な命を守る』全国中・高校生作文コンクール」で岩手県立千厩高校3年、小野寺優唯さんが警察庁長官賞に。

岩手県警察本部・岩手県・岩手県教育委員会・(公社)いわて被害者支援センターでは、毎年度、犯罪被害者やその家族等から自らの体験を講演していただき、受講した中学生・高校生に命の大切さに関する自分の考えや意見・感想等の作文を募集しております。

令和2年度の応募作品のうち、高校生部門で岩手県立千厩高校3年、小野寺優唯さんが警察庁長官賞を受賞されました。小野寺さん、受賞おめでとうございました。

### 思いやりで救われる命

岩手県 岩手県立千厩高等学校 三年 小野寺 優唯

「命は大切だ」。今まで何度も言われてきた言葉であり、聞くと当たり前のように感じる言葉である。しかし、私は、日々を過ごすなかでそのようなことを考えたり、実感したりすることはほとんどなく、漠然と「自分は何のために生きているのか」と、「生」に対してネガティブな感情を持っていた。

以前、学校で行われた講演会で、交通事故が原因で息子さんを亡くされた方のお話を聞いた。私はそれまで、身近な人を事故や事件で亡くした経験はなかったため、実際に被害を受けた方のお話を聞いて衝撃を受けた。命はほんの一瞬で奪われてしまうということ、遺族が深い心の傷を負うこと。今まであまり知らずとしていなかったことが、講師の方のリアルな言葉で伝えられ、私は当たり前を感じていた「命の大切さ」がどれだけ重要なものであるかを改めて感じた。その一時間で、私の「生」に対する感情が変わったように思う。日々たくさんのことに悩むのも、辛い思いをするのも楽しい思いをするのも、すべて自分が生きているからできることなのだと思うようになった。講師の方の思いを完全に理解することは難しいかもしれない。しかし、お話を聞いた私たちは、それを理解しようとする努力や、命について考えることができる。一人ひとりがしっかりと考えることが思いやりにつながり、犯罪被害を減らす第一歩になると思う。

命は私たちに平等に与えられているものであり、失われていい命はない。私はそう思っている。毎日のようにニュースで命を奪う事件、事故を目にする。殺人や事故のように直接的に命を奪うものもあれば、いじめ、誹謗中傷のように精神的に

追いつめられ最終的に自殺に至ってしまうというものもある。

近頃は以前に比べて、精神的な殺人に関するニュースを目にすることが多いように感じる。実際に年々、誹謗中傷被害の事件数は増加傾向にあるという。この原因には、SNSやスマートフォンの普及が大きく関わっていると思う。学校におけるいじめでも、実際に手を出さずにSNSで悪口を書き込んだり嫌がらせをしたりするケースが増加している。匿名で書き込めることから、いじめている側には「いじめをしている」という意識がない場合もある。どこからがいじめなのか、はっきりとした定義がないことも一因かもしれないが、「遊びのつもりだった」では許されない。等しく命を授けられた以上、人には平等に生きる権利があると思う。同じ環境に生きているのに、誰かのせいで生きづらい思いをしている人と、その生きづらさを故意的につくりあげている人がいる。私はこの状態があってはならないと思う。芸能人がSNSでの誹謗中傷を苦に自殺した事件から、発信者情報開示請求の制度改正の動きが出てきた。制度の見直しが進んでいるなか、私たちのSNSに対する姿勢は見直さなくて良いのか。今まで被害を受けてきた方々の思いを私たちはしっかり受け取り学んでいく必要があると思う。対面でも、SNSでも、言葉の先には人がいるということを常に心に留め、思いやりと想像力を働かせて発信や行動をする。特別なことをしなくても、その思いやりだけで救われる人は大勢いるはずだ。

命には、一人の人間だけでなく、その人に関わる人全員の人生が詰まっている。一人一人が自分の命を大切にすることで、自然と周囲の人の命も大切だと考えられるようになるだろう。それが、最終的に犯罪被害を減らすことにつながるはずだ。家族や友人など、大事な人を守るためにも、私は自分の命を大切に、思いやりを持って生きていこうと思う。

## 「イオン黄色いレシートキャンペーン」による寄贈

イオンでは、毎月11日の「イオン・デー」に、お客様がレジ精算時に受け取った黄色いレシートを地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのボックスに投函することにより、レシート合計の1パーセントの品物が各団体に寄贈される取り組みを行っています。このボランティア団体に当センターが登録しています。今年度は、イオン前潟店、渋民店合計40,500円分のコピー用紙の寄贈を受けております。



令和3年度養成講座受講者の募集 ~私たちと一緒に活動していただけるボランティアを募集しています~

(公社)いわて被害者支援センターでは、事件・事故の被害者やその家族を支援するため、電話相談や支援活動に携わるボランティアを募集しております。

- 募集期間 令和3年2月1日(月)から同年4月30日(金)
募集地域 盛岡市・滝沢市・雫石町・矢巾町・紫波町にお住まいの方
応募条件 ・年齢25歳以上で、心身ともに健康な方

・支援活動に必要な技術を修得するための「養成講座」を受講できる方
《令和3年6月から同年12月まで(月1回程度)》 ※なお、経験の有無は問いません。
応募方法 電話またはファックスで下記の連絡先までお申し込みください。「採用時養成講座申込書」をお送りします。
なお、同申込書は、当センターHP(https://www.iwate-vsc.jp)からでもダウンロードできます。

問合せ先 〒020-0021 盛岡市中央通3丁目10-2 公益社団法人いわて被害者支援センター事務局
TEL:019-621-3750 FAX:019-613-3754

法人賛助会員名簿

(敬称略、順不同)

令和2年12月末現在 正会員2 賛助会員340(警察署管内ごとに区分しています)

令和2年12月末現在の法人正会員及び賛助会員としてご協力をいただいております方々のお名前を掲載させていただきます。センターの支援活動に有効に使わせていただきます。

ご協力いただき心から感謝いたします。

- 盛岡東
(一社)岩手県交通安全協会
(公財)岩手県暴力団追放推進センター
(一社)岩手県交通安全協会 盛岡支部
(一社)岩手県指定自動車教習所協会
アートホテル盛岡
アルファクラブ東北株式会社
インディ商事 株式会社
ネットヨタ岩手株式会社
モトモチ商事株式会社
医療法人 日新堂 八角病院
医療法人財団 仁医会 都南病院
(一社)岩手県警備業協会
(一社)盛岡市医師会
株式会社 アイ不動産
株式会社 いんべかりーニング
株式会社 コミュニケーションズ・コ・ア
株式会社 ジュームス岩手
株式会社 たいよう共済 岩手支店
株式会社 トヨタレンタリース岩手
株式会社 ナイス・ジャパン
株式会社 バーグル
株式会社 ヤマトフードサービス
株式会社 丸久商店
株式会社 岩手日報社
株式会社 吉田印刷
株式会社 吉田測量設計
株式会社 久慈設計
株式会社 駒木葬祭
株式会社 五六堂印刷
株式会社 三田商店
株式会社 東北映像
株式会社 鳩林商事
株式会社 平金商店
株式会社 木津屋本店
岩手トヨペット株式会社
岩手県ハイタク交通共済協同組合
岩手県警友会連合会事務局
岩手県遊技業協同組合
岩手庄子運送株式会社
岩手電工株式会社
岩手洋服販売株式会社
県警 刑事部科学捜査研究所 匠会
県警 刑事部鑑識課 睦会
県警 刑事部機動捜査隊 親睦会

- 県警 刑事部刑事企画課 互助会
県警 刑事部組織犯罪対策課 親睦会
県警 刑事部捜査第一課 親睦会
県警 刑事部捜査第二課 親睦会
県警 警備部警備課 互助会
県警 警備部公安課 親睦会
県警 警務部会計課 親和会
県警 警務部監察課 ひまわり会
県警 警務部警務課 互助会
県警 警務部県民課 親睦会
県警 警務部厚生課 親和会
県警 警務部情報管理課 情管会
県警 警務部人財育成課 互助会
県警 警務部総務課 互助会
県警 交通部交通機動隊 親睦会交機会
県警 交通部交通規制課 親交会
県警 交通部交通指導課 交友会
県警 交通部高速道路交通警察隊 親睦会やすらぎ会
県警 生活安全部サイバー犯罪対策課
県警 生活安全部少年課 睦会
県警 生活安全部生活安全企画課 睦会
県警 生活安全部生活環境課 親睦会
県警 生活安全部地域課 しらかば会
県警 生活安全部通信指令課 親睦会
県警 盛岡東警察署職員互助会
合同会社 ネットワークさとう
三本コーヒー株式会社
社会医療法人 智徳会 未来の風せいわ病院
社団医療法人 赤坂病院
渋民歯科クリニック
小松総合印刷株式会社
盛岡ロータリークラブ
盛岡観山荘病院
盛岡東警察署警察官友の会
盛岡南地区 警友会
盛岡遊技業組合
全国共済農業協同組合連合会岩手県本部
東日本電信電話株式会社 岩手支店
東北電力株式会社 岩手支店
白石食品工業株式会社
北日本通信株式会社
有限会社 サン住設
有限会社 シューズモリ
有限会社 岩手自動車電機
有限会社 佐々木硝子店
有限会社 三電工業

- 有限会社 大典堂印刷所
鈴木内科・神経内科

- 盛岡西
株式会社 トークス 岩手支社
株式会社 宮崎商店
株式会社 公楽
岩手県交通株式会社
県警 運転免許課 職員互助会
県警 岩手県警察学校
県警 警備部機動隊 互助会
県警 盛岡西警察署 職員互助会
盛岡ターミナルビル株式会社
盛岡ニッタン株式会社
盛岡ライオンズクラブ
盛岡西警察署 警察官友の会
中央自動車学校
東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社
湊運輸倉庫株式会社

- 岩手
葛巻町警察友の会
岩手警察署警察官友の会
岩手警察署警察官友の会 岩手町支部
岩手警察署警察官友の会 西根支部
岩手県コンビニエンスストア等防犯対策協議会連合会
県警 岩手警察署職員互助会
荒沢運送有限公司
北岩手交通安全協会

- 紫波
みちのくココ・コーラボトリング株式会社
医療法人 泰三会 徳永整形外科
(一社)岩手県自家用自動車協会
(一社)岩手県自動車会議所
(一社)岩手県自動車整備振興会
岡崎建設株式会社
株式会社 カワイ
株式会社 三ツ星商会
株式会社 紫波フルーツパーク
株式会社 小松組
橋建設株式会社
県警 紫波警察署 職員互助会
(公社)岩手県トラック協会
佐々木建設株式会社
紫波交通安全協会

紫波中央自動車学校

花巻

旭エンジニアリング株式会社
花巻警察署警察官友の会
花巻警友会
花巻自動車学校
花巻地区企業防犯連絡協議会
花巻地区遊技場組合
株式会社 グリーン・ライフ
株式会社 みちのくクボタ
株式会社 山下組
株式会社 小友木材店
岩手雪運株式会社
岩手標識株式会社
県警 花巻警察署 職員互助会
高源興業株式会社
高田工業株式会社

北上

有限会社 浅井自動車販売
有限会社 スタック
有限会社 カネタ運送
北日本重機有限会社
北誠電工株式会社
北上物産株式会社
北上電工株式会社
北上信用金庫
北上自動車学校
北上警察官友の会
北上運輸株式会社
北上ビルメン株式会社
南部電気工事株式会社
東日本高速道路株式会社東北支社北上管理事務所
大通運送株式会社
千田工業株式会社
千田孝幹司法書士事務所
西部自動車工業
小田島建設株式会社
県警 北上警察署 交誼会
岩手県警察官友の会連合会
岩手県タクシー協会和賀支部
岩手基礎工業株式会社
株式会社 北上開発
株式会社 北上ヘルシー
株式会社 平野ターフ
株式会社 八重樫葬具店
株式会社 日盛ハウジング
株式会社 東北佐竹製作所
株式会社 東北ビルテック
株式会社 中村商会
株式会社 村上商事
株式会社 昭和管工
株式会社 桜
株式会社 佐藤組
株式会社 笠井
株式会社 葵架設
株式会社 阿部マイカーセンター
株式会社 ライフ花北
株式会社 ヤマト
株式会社 ヤエガシ
株式会社 メイホール
株式会社 みちのくジャパン
株式会社 フジサキ
株式会社 アイエムアイ
医療法人 室岡整形外科医院
プラント工業株式会社
ソーシャル株式会社
センコン物流株式会社北上営業所
シミズ運輸有限会社
クイック株式会社

奥州

イワセキ株式会社
トヨタ自動車東日本(株)岩手工場
奥州警察署警察官友の会
株式会社 本宮運輸
岩手県水沢地方交通安全協会
岩手江刺農業協同組合

共栄運輸株式会社
県警 奥州警察署 職員互助会
江刺岩手ライオンズクラブ
小見レディースクリニック
白金運輸株式会社
有限会社 菊池塗装工業所

一関

医療法人 三秋会 介護付有料老人ホームいわいの郷
医療法人 三秋会 介護老人保健施設 さわなり苑
一関ライオンズクラブ
一関警察署 警察官友の会
一関自動車学校
一関商工会議所
一関信用金庫
一関中央クリニック
一関糧運株式会社
(一社)岩手県タクシー協会一関支部
株式会社 ホームス・キリンヤ
株式会社 国際自動車教習所
株式会社 佐原
株式会社 佐々木組
株式会社 菜花堂
株式会社 松栄堂
株式会社 平野組
岩手県一関地区交通安全協会
県警 一関警察署 職員互助会
宗教法人 毛越寺
世嬉の一酒造株式会社
千トラック販売株式会社
川嶋印刷株式会社
大森工業株式会社
中尊寺
特定非営利活動法人 ケアセンターいこい
有限会社 シマフジ企画
有限会社 プロフィット
有限会社 郭公屋
有限会社 岩手南警備保障
有限会社 鈴木鉄筋

千厩

オヤマ株式会社
トーバン印刷株式会社
ニッコー・ファインメック株式会社
伊東運送株式会社
医療法人 三秋会 介護老人保健施設 やまゆり
株式会社 アグリサービス
株式会社 オヤマ
株式会社 ガーデン なかじま
株式会社 サンライズトランスポート
株式会社 マリアージュ
株式会社 千厩自動車学校
株式会社 立石コンクリート
株式会社 和泉屋
県警 千厩警察署 互助会
千厩警察署警察官友の会
川崎コンクリート工業株式会社
東磐運送株式会社
ハツ星運輸株式会社
有限会社 すずまーと
有限会社 栄和興業
有限会社 及川石材店
有限会社 及善会館
有限会社 湖月堂
有限会社 佐藤建興
有限会社 三和交通サービス
有限会社 菅原建材輸送
有限会社 千厩運送
有限会社 東山運送
有限会社 那須工業運輸
有限会社 那須野葬祭社

大船渡

さいとう製菓株式会社
ホテル 福富
株式会社 マイヤ
株式会社 東海新報社
岩手総業 株式会社
気仙地区交通安全協会

橋爪商事株式会社
県警 大船渡警察署 職員互助会
大船渡警察官友の会
有限会社 休石商事運輸
陸前高田ドライビングスクール
陸前高田ライオンズクラブ

遠野

遠野ドライビング・スクール
遠野警察官友の会
遠野地区金融機関防犯協会
株式会社 N・S・A・S 遠野営業所
県警 遠野警察署 親睦会
有限会社 遠野車輛工業

釜石

(一社)釜石医師会
釜石警察官友の会
岩手県釜石地区交通安全協会
県警 釜石警察署 職員親睦会
三陸電業株式会社
日鉄テックスエンジ株式会社東北支店
日鉄物流釜石株式会社

宮古

リアス環境管理株式会社
医療法人財団 正清会
株式会社 グリーンピア三陸みやこ
株式会社 宮古ドライビングスクール
宮古ヤクルト販売株式会社
宮古警察官友の会
宮古信用金庫
宮古地区 交通安全協会
宮古地区安全運転管理者選任事業所事業主会
金子誠輪社
県警 宮古警察署 互助会
陸中建設株式会社

岩泉

(公社)岩手県トラック協会岩泉支部
岩泉警察署 警察官友の会
岩泉自動車運輸株式会社
金寿恵運送有限会社
県警 岩泉警察署 職員互助会
小本運送有限会社

久慈

プレステック株式会社
医療法人健生会 竹下産婦人科医院
一沢コンクリート工業株式会社
下館建設 株式会社
株式会社 ヒカリ総合交通
株式会社 ファーマ・ラボ 営業本部
株式会社 越戸商店
株式会社 小山組
株式会社 中塚工務店
蒲野建設 株式会社
岩手県久慈地区交通安全協会
久慈警察署 警察官友の会
宮城建設 株式会社
県警 久慈警察署 親睦会 むつみ会
十久輸送有限会社
遊技業 久慈組合

二戸

医療法人 青松会
株式会社 アキヤマ
株式会社 十文字チキンカンパニー
株式会社 南部美人
県警 二戸警察署 職員互助会
二戸警察官友の会
二戸地区コンビニエンスストア等防犯対策協力会
有限会社 一戸運輸
有限会社 岩手県北自動車学校
有限会社 中山運送
有限会社 福田運送
有限会社 北福岡酪農運輸
鈴丸商事運輸有限会社

# みなさまへのお願い

私たち「いわて被害者支援センター」は、多くの方々からのご支援を受けて、被害者支援活動を展開しております。会員、賛助会員の皆様からは会費の形で、また、募金付自動販売機や募金箱の設置などを通じてご支援もいただいています。被害者支援活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

## 賛助会員 年会費

(法人・団体) ..... 一口**10,000円**

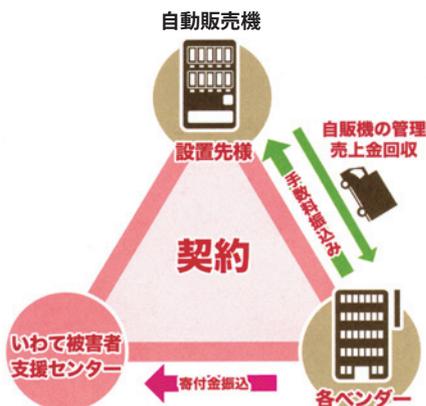
(個人) ..... 一口**3,000円**

賛助会員へのご入会・ご寄付につきましては、専用の振込用紙（県内、指定金融機関は手数料不要）をお送りいたします。当センターへの会費・寄付は優遇税制が適用となります。

### 「犯罪被害者支援募金付自動販売機」

募金付自動販売機は、設置先様の売り上げ代金の中から受取手数料の一部を寄付していただくものです。

- ① 設置先の企業・団体様が設置している自販機の中から、募金付自販機を選定
- ② 選定したベンダーと協議し(手数料の中から寄付金額を決定)契約。



### 「ホンデリング ～本で広がる支援の輪～」

お読みになった本をご寄付いただく社会貢献プロジェクトです。



※贈与承諾書は「いわて被害者支援センター」事務局（☎019-621-3750）までお電話下さい。  
 ※以下の本は買取の対象外となります。  
 ・裏表紙に「ISBN」から始まる番号がない本。

ISBN978-4-1234-5678-9  
 ISBN見本  
 9870123456789



### 「犯罪被害者支援 ワンクリック募金」

「いわて被害者支援センター」ホームページの閲覧者が、掲載されている賛同企業のバナー広告をクリックすると1クリック当たり10円がその企業から、支援センターに寄付されるものです。

この募金は一般的な募金と違い、募金を行う人が金銭を提供することなく行なえる「身近な社会活動」ですので、1日1回のワンクリックにご協力をお願いします。

**ワンクリック募金**

下にあるバナーをクリックすることで、クリックしたあなたに代わり協賛企業様から1クリックにつき10円が当センターへ寄付されます。皆様が手軽に社会貢献できる仕組みですので、1日1回のワンクリックにご協力をおねがいいたします。

私たちは、いわて被害者支援センターの活動に協賛しております

※ワンクリック募金は、いわて被害者支援センターの活動にご協力いただいている協賛各社のご協力により運営されております。

### 募金箱の設置

募金箱の設置をしていただける施設や企業様のご協力をお願いします。

### イオン黄色いレシートキャンペーン

毎月11日に、盛岡市前潟のイオン盛岡店及び玉山区のスーパーセンター盛岡浜民店で買物されると精算時に黄色いレシートが渡されます。このレシートを「いわて被害者支援センター」の投函ボックスに入れていただきますと年間の合計金額の1%が当センターに寄付されます。

毎月11日のイオン・デーは、幸せの黄色いレシートの日。

じぶんの買物でだれかを幸せにするの喜び。  
 イオン 幸せの黄色いレシート  
 since 2001

あなたが応援したい団体を支援するレシートを回収してください。  
 対象となるレシート金額の1%と同額の品物をその団体に寄贈します。

買物 → レシート → 選ぶ → 1% → 幸せ!!

